

2025年度事業計画

組込みシステム産業振興機構

第1部会の目指す方向

人材育成の場づくり

産業界のニーズに合った「質」の高い人材育成基盤整備

【STEP7事業方針】

- ・十字型人材の輩出
 - ・産業界の最新のニーズを的確に捉えた講座の改善や充実化
 - ・交流の場の提供・充実による人的交流を活性化
- ・運営体制強化
 - ・受講生満足度の維持向上
 - ・遠隔受講ニーズに対応した柔軟な開催形態
 - ・非会員・新規会員への普及促進

反映

高度人材の輩出

第1部会の目指す方向

目指す高度人材とは・・・

デジタルトランスフォーメーションの時代を担う「十字型人材」

- ・システム全体を見渡す俯瞰力とコミュニケーション力で、組込みシステム開発をリードできる人材
- ・「突き抜ける発想力」と「とがった独創力」で、ビジネスにおいて新しい価値を創出できる人材

ニーズ変化と背景

◆ STEP7の基本方針と目指すべき方向性

・基本方針

- ①幅広い事業・施策展開による、機構価値の最大化
- ②多様な企業・団体との連携促進による産学官協働プラットフォームの強化
- ③次世代を担う人材の参画促進による、活動の活性化

・目指すべき方向性

共創による価値創造型ビジネスへの転換を目指し、デジタル変革(DX)の推進を通じて、持続可能な社会の実現に貢献する。

- ①十字型人材の輩出
- ②デジタル化による開発力・変革力強化
- ③企業間の共創によるビジネス活性化
- ④産学官連携によるオープンイノベーションの活性化

◆ STEP7での組込み適塾へのニーズ(アンケート分析結果)

- ①体系的なカリキュラムへの評価は高いが、さらなるカリキュラムの改善・充実化への期待も大きい。特に、アーキテクチャ設計講座へのニーズが増加。
- ②講座開催形態としては、集合形式へのニーズが最も多いが、ハイブリッド形式での遠隔受講ニーズが予想以上に多い。
- ③受講目的や選定ポイント等の分析結果から、人的交流へのニーズが増加。

2025年度 事業計画

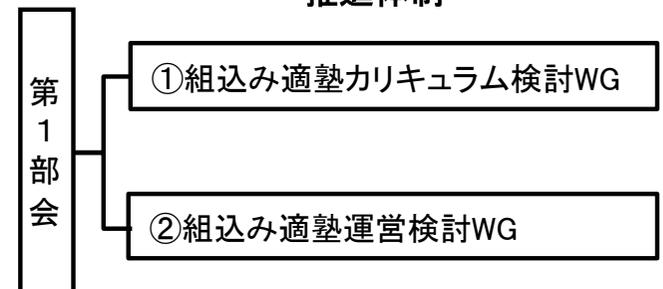
1. 「組込み適塾」のブランド価値向上

- (1) 「十字型人材の輩出」を目指したカリキュラムの改善(①)
- (2) 開催会場変更やハイブリッド形式開催に伴う円滑な講座運営(組込み適塾事務局)
- (3) ハイブリッド形式講座拡大に向けた運営改善検討(②、組込み適塾事務局)

2. 自由で活発な交流の”場”の提供

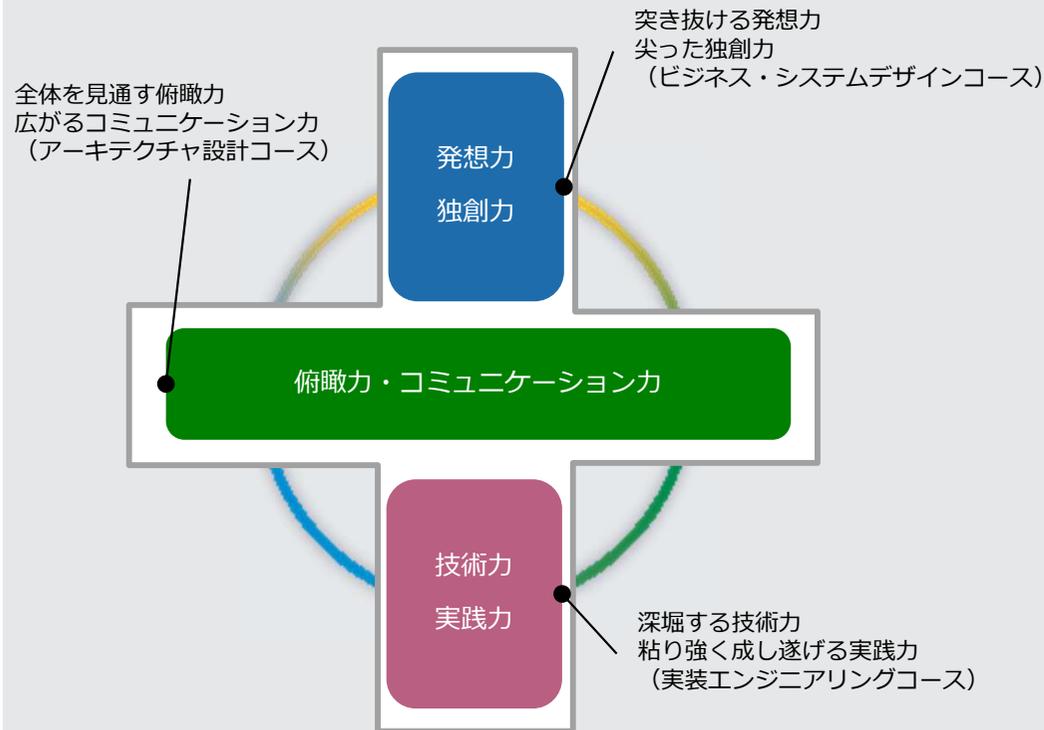
- (1) 関係者/講師/受講生間の人的ネットワーク形成の支援(②)

推進体制

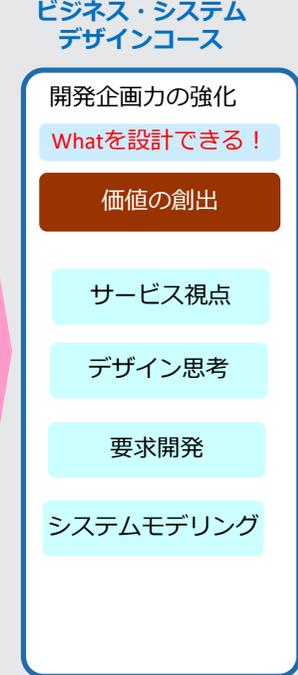


組込みシステム産業振興機構では、IoTをはじめとするデジタルトランスフォーメーションの時代を支える人材像としまして、十字型人材（深い技術力と実践力をベースに、全体を見通す俯瞰力と広いコミュニケーション力を持ち、尖った発想力と独創力を持つ人材）を提唱しています。

十字型人材



組込み適塾コース概要



2. 第2部会(ビジネス創出支援事業) 事業計画

第2部会の目指す方向

ビジネス機会創出の場づくり

【第2部会 STEP7活動指針】

1. 幅広い事業・施策展開による、機構価値の最大化
2. 多様な企業・団体との連携促進による、産学官協働プラットフォームの強化
3. 次世代を担う人材の参画促進による、活動の活性化

競争力強化の場づくり

価値創出型ビジネスへの変革力強化を支援
(組込み開発企業展示会)

オンサイトを中心にオンライン活用

商品開発力強化を支援
(プライベートセミナー、
先端施設見学会)

第2部会の目指す方向

反映

◆ ニーズ変化の背景(組込み業界の環境動向)

- ・ 製造事業者におけるDXは、「個別工程のカイゼン」にとどまっており、DXによる製造機能の全体最適化が必要。
- ・ 事業領域の拡大に向けて、サブスクリプションやプラットフォームビジネス展開など「モノを作って売る」だけではない、ものづくりにおけるビジネスモデルの変革が必要。
- ・ 新たな価値を生み出す基盤づくりに向けた、産学協働リカレント教育モデルによる、DX等成長分野の人材育成を推進。

◆ 第2部会への会員企業ニーズ(STEP7アンケート結果)

- ・ 各施策(組込み開発企業展示会、プライベートセミナー、先端施設見学会)への参加者からは、「ニーズに合った施策の開催」、「人脈形成に役立つ」と認識されており、現状の活動について大変満足度が高く、活動継続を期待されている。

2025年度 事業計画

1. 戦略的展示会開催による顧客価値創出型ビジネスへの商品提案力強化支援

- (1) 戦略的に展示会を開催し、出展先企業のDXニーズに応える商品提案の場を提供(①)
- (2) 展示会の規模を求めるのではなく、来場者、出展社の双方が満足できる展示会形態にブラッシュアップ(①)
- (3) 出展先企業のニーズ情報取得、出展先企業との人脈形成など、出展成果向上のための施策実施(①)
- (4) 来場者・出展企業の評価を定量化し、施策改善に活用(①)

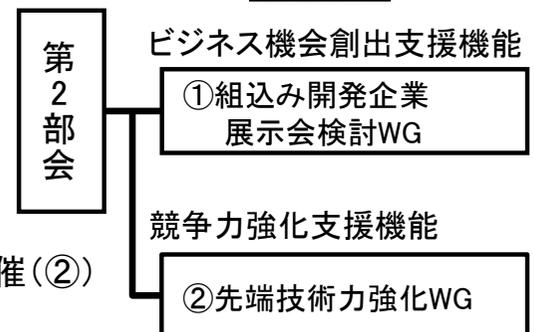
2. プライベートセミナー、先端施設見学会による競争力強化支援

- (1) 会員に有益なテーマで競争力強化につながる講演を提供(②)
- (2) 組込み開発企業展示会と連携し、産総研講演を会員向けに実施(②)
- (3) 講師と参加者が一体となった活発な意見交換の場と人的交流の場を提供(②)
- (4) 先進取組み施設見学と技術懇談により、人的交流と触発機会を提供する先端施設見学会を開催(②)

3. WINKと連携し、参加チームの要望に応じた支援の場を提供

- (1) WINK参加チームからの要望に応じ、展示会、プライベートセミナーなど部会活動を活用した場を提供(①②)

推進体制



3. 企画広報部会(企画・広報事業) 事業計画

企画広報の目指す方向

【企画広報部会 STEP7事業方針】

他地域連携の場

他地域団体との強固なネットワーク形成

情報発信・交流の場

最先端の情報発信力を強化

ビジネス機会創出の場

ビジネスを学び、実績を積める場の機能を強化

会員協働の場

共創マインド浸透・定着

企画広報部会の目指す方向

産学官連携によるオープンイノベーションの活性化

オープンイノベーションによる組込みシステム産業界の発展に寄与と
機構プレゼンス向上による新規会員獲得を図り、機構の活性化を目指す

反映

ニーズ変化の背景

- ◆ 製造業全体の目指すべき姿（経産省「ものづくり白書2024」要約抜粋）
 - ・ 「モノを作って売る」だけではないビジネスモデルの変革が必要。
 - ・ 新たな価値を生み出す基盤づくりに向けた、産学協働リカレント教育モデルによる人材育成を推進。
- ◆ 社会の変化・動向
 - ・ 社会課題が複雑化・深刻化している中、産学官のあらゆる分野で「共創」による課題解決が求められている。
- ◆ STEP7での企画広報事業へのニーズ(アンケート分析結果)
 - ・ 【全国組込み産業フォーラム】人材交流の重要性が指摘されており、開催地を含めた運営改善が求められている。
 - ・ 【連携セミナー】情報提供に加え、参加者同士の交流機会を求める声がある。
 - ・ 【WINK】今後の方向性で「ビジネス化と教育の両立」が最も支持され、「技術者がビジネスを学びながら実践する機会の提供」を期待する意見が多かった。
 - ・ 【共創サロン】中止となる研究会の「協働による課題解決の場」としての機能を、共創サロンが引き継ぐ。

2025年度 事業計画

1. 全国組込み産業フォーラム、連携セミナーによる産学官協働プラットフォーム強化

- (1) 議論と知見共有の場の提供による、強固なネットワーク形成の促進(全国組込み産業フォーラム、連携セミナー)
- (2) 多様な企業・団体との連携促進による、情報発信力の強化と人脈拡大(全国組込み産業フォーラム、連携セミナー)

2. WINK、共創サロンによるオープンイノベーションの更なる活性化

- (1) 技術者がビジネスを学び実践する場を強化し、新たな挑戦と人脈形成を促進(WINK)
- (2) 共創マインドの継続的な浸透・定着を目指した、プログラム内容の更なる充実(共創サロン)

3. 機構プレゼンス向上のための戦略的プロモーションおよび部会施策の広報支援

- (1) STEP7事業方針を反映したプロモーションツール(機構サイト、パンフレット等)の改善
- (2) 第1部会との連携による、組込み適塾(十字型人材)の普及促進